

議会だより



3月の
定例会

- ② 令和4年度当初予算
ふるさとの復興・再生 予算可決
- ④ こんなことが決まりました
3月定例会・3月臨時会
- ⑧ 全員協議会報告
町の重点事業について
- ⑩ ズバリ!! 町政を問う
2議員が質問



富岡町議会の
ホームページはこちらから

富岡町が誇る桜並木 / (富岡町桜まつり2022)

令和4年度
当初予算

ふるさととの復興・再生 予算可決

《一般会計 135億円 特別会計 47億円 総予算 182億円超》

◆桜まつり事業、桜保全事業

- 「桜まつり事業」……4月9日・10日に富岡町桜まつり2022を開催。

＜令和4年度予算額 …… 2,182万円＞

- 「桜保全事業」……桜の植樹や桜保全計画に関する検討委員会の開催等を行います。

＜令和4年度予算額 …… 2,036万円＞



富岡町桜まつり2022

◆防火防犯パトロール事業

とみおか守り隊等による町内一円のパトロールを継続実施します。

また、立入規制緩和への対応として、夜間警備の増台をしています。

＜令和4年度予算額 … 3億6,774万円＞



地域防犯出動式

◆放課後児童クラブ事業

全ての就学児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう「富岡町放課後子ども総合プラン」として、放課後児童クラブと放課後子ども教室を一体的に実施します。

＜令和4年度予算額 … 4,876万円＞



放課後児童クラブで春休みを過ごす児童

◆被災地域農業復興総合支援事業

双葉郡内で生産されたタマネギの、乾燥機能を保有する集出荷施設を整備します。

＜令和4年度予算額 … 13億6,088万円＞



タマネギの収穫風景

定例会の
あらまし

令和4年3月定例会は、3月8日から10日までの3日間の会期で開催しました。

令和4年度一般会計及び特別会計の当初予算をはじめ、令和3年度の補正予算、条例の改廃、人事案件、議員発委など、計32件の議案を慎重に審議し、すべて原案のとおり可決しました。

一般質問では2議員が登壇し、町執行部体制のあり方や今後直面する課題等について伺いました。

【令和4年度 施策の3本の柱】

- ◎ 地域経済を好循環させる農業と産業の育成
- ◎ 地域全体の賑わいを形作る帰還と移住の促進
- ◎ 自ら考え行動し、進んで楽しく学ぶ子どもを地域で育てる環境作り



【令和4年度 主な事業】

◆移住・定住推進事業

移住相談窓口や、富岡町への移住を検討する方に実際に町内での生活を体験してもらうお試し住宅の整備、サテライトオフィス整備に向けた調査・検討、また、移住・定住の情報を県内外へ発信するための情報誌掲載やPR動画作成などを行います。

＜令和4年度予算額 … 1億4,254万円＞



移住相談窓口及びお試し住宅(旧 竹村写真館)

◆公園整備事業

夜の森公園をはじめ、町内26ヶ所の公園について、令和4年度からの5年間で規模や立地条件に合わせた整備をしていきます。

＜令和4年度予算 … 2億4,350万円＞



現在の夜の森公園

令和4年第2回定例会で審議した議案とその結果

上程議案・概要	結果
◆委員会名称の改正案件	
発委第1号 富岡町議会報編集特別委員会の名称の改正について	全会一致 原案可決
◆条例の制定及び改廃案件	
議案第3号 富岡町東日本大震災等による被災者に対する令和4年度の町税等の減免に関する条例について	全会一致 原案可決
議案第4号 富岡町福島県特定事業活動振興復興計画に基づく町税の特例に関する条例について	全会一致 原案可決
議案第5号 富岡町福島県新産業創出等推進事業促進計画に基づく町税の特例に関する条例について	全会一致 原案可決
議案第6号 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
議案第7号 富岡町駐車場条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
議案第8号 富岡町復興産業集積区域における町税の特例に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
議案第9号 富岡町地域交流館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
議案第10号 富岡町複合商業施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
議案第11号 富岡町スクールバス条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
議案第12号 富岡町学校給食センター条例を廃止する条例について	全会一致 原案可決
議案第13号 富岡町下水道事業受益者分担金条例を廃止する条例について	全会一致 原案可決

※第2回定例会における「令和4年度当初予算」、「人事案件」、「指定管理者の指定」、「令和3年度補正予算」は別頁に詳細を掲載しております。また、各議案については富岡町ホームページにおいても報告しておりますので、ご参照ください。

こんなことが決まりました。

人事案件

副町長に
竹原 信也さん



竹原 信也さん

副町長に竹原信也さんを任命することに同意しました。
任期は令和4年4月1日からの4年間です。
(3月定例会 全会一致 原案可決)

教育委員に再任
猪狩 いづみさん



猪狩 いづみさん

教育委員の任期満了に伴い、猪狩いづみさんを再任することに同意しました。
任期は令和4年4月1日から4年間です。
(3月定例会 全会一致 原案可決)

【略歴】
昭和36年生 60歳
元・参事兼都市整備課長
東北学院大学土木工学科卒
財団法人宮城県公衆衛生協会をはじめとし、平成元年に富岡町役場に入庁してからは都市整備課、下水道課、双葉地方水道企業団派遣、復興推進課、企画課、拠点整備課などを歴任。

【おまけ】
「ご同意いただきまして、ありがとうございます。」
これからも富岡の子ども達のために、また、富岡町のために、微力ではございますが力を尽くしてまいります。今後ともご指導、ご教示よろしく願います。

人権擁護委員として
適任である
渡邊 はま子さん

人権擁護委員の任期満了に伴い、渡邊はま子さんを推薦する諮問が提出され、適任であると可決しました。
任期は、令和4年7月1日から3年間です。
(3月定例会 全会一致 原案可決)

指定管理者の指定

富岡町水産業共同利用施設の指定
管理者を指定



水産業共同利用施設

相馬双葉漁業協同組合
代表理事組合長 立谷 寛治
(3月定例会 全会一致 原案可決)

議員が切り込む!!
質疑応答

【一般会計当初予算】
問 移住政策における、おためし住宅の詳細は。(宇佐神幸)

答 企画課長
旧竹村写真館において4泊5日の期間で泊まっていたための住宅です。期間中に体験プログラム等も計画しており、富岡町への移住を「検討」から「計画」に移してもらえるよう考えています。

問 移住・定住促進委託料の事業内容は。(佐藤教宏)

答 企画課長
広く富岡町を案内するため、また、移住から定住につなげていくため本格的に取り組む事業であり、県内のタウン誌や家づくり情報誌、全国の移住専門誌への掲載やPR動画の作成・配信などと併せて、交流関係人口を増やすため、雑誌の読者の参加型モニターツアーとして日帰りツアーを計画しています。
本格的に移住を検討している方をターゲットとした移住相談窓口やおためし住宅の運営、サテライトオフィス環境の整備や住まいの確保支援等、広く検討していきます。

問 商業拠点施設整備改修として、さくらモールの屋根の改修が計上されているが、不備か定期的な改修か。(佐藤啓憲)

答 産業振興課長
年間数件雨漏りの事象が発生していることから、大きな問題になる前に屋根全面を改修するものです。工事につきましては、営業を止めない形で進める予定です。

問 来年度のプレミアム付き商品券のプレミアム率や販売数等について。また、生活弱者に対してプレミアム率を上げるなどの検討はあったか。(渡辺正道)

答 産業振興課長
プレミアム率や受付方法等は今年度同様で、1万5千セット販売の予定です。プレミアム率の引き上げについては、検討はありません。

問 つつみ公園は再来年度の工期予定となっているが、立入規制が緩和された中で、施設内の安全性は。(佐藤啓憲)

答 都市整備課長
現在フェンスで囲っており、立ち入れなくなっています。来年度に設計や調査、一部線量のフォローアップ除染等を行い、令和5年度には安全に利用できるよう進めていきます。



臨時会審議議案一覧

令和4年第3回臨時会で審議した議案とその結果

上程議案・概要		結果
◆選任および推薦案件		
選任第1号	富岡町議会常任委員会委員の選任について	別頁のとおり
選任第2号	富岡町議会常任委員会委員長及び副委員長の選任について	別頁のとおり
選任第3号	富岡町議会運営委員会委員の選任について	別頁のとおり
選任第4号	富岡町議会運営委員会委員長及び副委員長の選任について	別頁のとおり
選任第5号	富岡町議会広報特別委員会委員の選任について	別頁のとおり
選任第6号	富岡町議会広報特別委員会委員長及び副委員長の選任について	別頁のとおり
推薦第1号	富岡町都市計画審議会委員の推薦について	別頁のとおり
推薦第2号	富岡町青少年問題協議会委員の推薦について	別頁のとおり
推薦第3号	富岡町総合開発審議会委員の推薦について	別頁のとおり
推薦第4号	富岡町民生委員推薦会委員の推薦について	別頁のとおり
推薦第5号	富岡町水防協議会委員の推薦について	別頁のとおり

※第3回臨時会における各種委員会委員等の選任・推薦に関する結果は18ページに詳細を掲載しております。また、各議案については富岡町ホームページにおいても報告しておりますので、ご参照ください。

[野菜集出荷施設整備事業用地取得]

野菜集出荷施設整備事業に係る用地の取得について、可決しました。

(3月臨時会) 全会一致 原案可決

【概要】

- 取得予定価格 3,588万9,000円
- 取得面積 10,254㎡
- 取得用地の区域 富岡町大字本岡字王塚 地内

不動産の取得

問 周辺にカントリーエレベーターやアーカイブ・ミュージアム等が建設されており、ある程度地盤については承知しておりますが、全体的に土地の中を調査してからの購入はできないため、そのような状況が発生した場合について定めた条項となります。

答 産業振興課長

問 契約書における契約不適合責任について、例えば敷地内に埋設物がある等の影響で整備工事が成立しないなどの際に契約不適合責任が問われるとのことだが、地質などは契約前に事前調査を行わなかったのか。(安藤正純)

答 産業振興課長
来年6月のタマネギの収穫に合わせた形で、関係機関と調整をしながら早い段階で整備が進むよう協議していきたくと思っています。

問 町内のタマネギ生産者の皆さんは、早期整備を求めている。令和4年度から5年度にかけての整備計画だが、前倒しも視野に入れ進めて欲しいと考える。(渡辺三男)

議員が切り込む!!
質疑応答



一般会計 補正予算

基金の返納等による増額

《17億676万円を増額補正》

各種事務事業の進捗状況や事務事業費の整理による減額計上と、産業団地整備事業の終了に伴う再生加速化交付金基金の残余金を国庫に返納するための増額計上により17億676万円の増額補正を行い、総額160億2,980万円となりました。補正のあった主な事業は下表のとおりです。

事業内容(費目名)	補正予算額
財産管理事務諸経費(土地購入費 他)	1,352万円増
国庫支出金等返還金	20億2,178万円増
財政調整基金積立金	4億3,006万円増
共生型サポート拠点整備事業費(工事費、備品購入費 他)	2億998万円減
営農再開支援事業費(補助金)	4,202万円減
農地基盤整備促進事業費(委託料、工事費)	2,600万円減
都市計画事業費(助成金 他)	1,071万円減
学校給食管理事務諸経費(工事費、備品購入費)	3,842万円減
その他	4億3,147万円減

問 土地購入費増額の詳細は。(佐藤教弘)

答 産業振興課長
町内において草刈り等の保全管理を行っていますが、実績の単価が当初想定より低かったため減額となったことと、再生拠点区域の保全管理において、面積が当初見込みより約20ha減ったことで大きく減額となりました。

問 営農再開支援事業補助金減額の詳細は。また、営農の状況は。(安藤正純)

答 産業振興課長
町内において草刈り等の保全管理を行っていますが、実績の単価が当初想定より低かったため減額となったことと、再生拠点区域の保全管理において、面積が当初見込みより約20ha減ったことで大きく減額となりました。

問 営農再開支援事業補助金減額の詳細は。また、営農の状況は。(安藤正純)

答 産業振興課長
町内において草刈り等の保全管理を行っていますが、実績の単価が当初想定より低かったため減額となったことと、再生拠点区域の保全管理において、面積が当初見込みより約20ha減ったことで大きく減額となりました。

議員が切り込む!!
質疑応答



タマネギの作付け風景

問 地域おこし協力隊の成果と、今後の考えは。(渡辺三男)

答 産業振興課長
現在はワインドメーヌにおいて1月から活動を開始しています。これまでは農業の担い手確保の観点から、町において農業復興組合での採用で募集をかけていましたが、応募者に対し、より活動内容を分かりやすくするため、直接ワインドメーヌに入隊する仕組みをつくりました。

また、町内で受け入れ可能な農業法人もあり、地域おこし協力隊の他にも農業担い手の補助金を出しているため、今後は営農再開支援事業などの補助金等も活用、紹介しながら応援していく考えです。

＜準備宿泊・避難指示解除に向けた対策は＞

◆除染解体工事及び中間貯蔵施設への輸送並びに特定廃棄物埋立処分事業の状況について (環境省)

問 判断がつかない場合は、環境省職員が現地に伺い、個別に相談・回答します。基本的に一般家庭から排出されるごみは片づけごみとして、環境省が回収します。

答 環境省
判断がつかない場合は、環境省職員が現地に伺い、個別に相談・回答します。基本的に一般家庭から排出されるごみは片づけごみとして、環境省が回収します。



問 フレコンバッグに入らないような大型の家電など、処分する際に住民の負担にならないよう家庭ごみとする考えは。(安藤正純)

答 生活環境課
ごみステーションを巡回し、荒らされているところについては環境省に回収の申し入れをします。

◆特定復興再生拠点区域におけるふるさとへの帰還に向けた準備のための宿泊について (企画課・住民課・生活環境課・都市整備課・内閣府)

問 準備宿泊希望者だけではなく、来春に解除される地域の住民を対象にしています。

答 企画課
準備宿泊希望者だけではなく、来春に解除される地域の住民を対象にしています。

問 拠点区域内の消火栓の状況は。(渡辺正道)

答 生活環境課
消火栓については水道企業団で常時点検しており、水道が通れば使用できる状態になっています。

問 準備宿泊希望者への説明会を予定しているが、来春解除区域の全住民を対象にすることで希望者が増えることもあるのでは。(安藤正純)

答 都市整備課
現時点では準備宿泊希望者のいない場所ですが、今後希望が出された場合は仮設配管で対応できるように予算を確保しています。

問 上水道について1路線復旧が終わっていないが、準備宿泊希望者に関する場所の場合はどのように対応するのか。(堀本典明)

◆国道6号以東(帰還困難区域)の土地利用の考え方について (産業振興課・企画課)

問 1日も早く土地利用の答えを出すことで住民の安心につながる。新型コロナウイルス感染症のため説明会は延期となったが、帰還困難区域の住民へのアンケートで町はニーズの把握をしていると思われるので、ある程度の答えを見出したいと考えている住民の声を理解してほしいと考える。(渡辺三男)

答 産業振興課
土地利用の表記は難しいのが現状ですが、町が土地利用の考え方を示すことにより、区域の避難指示解除に向けた糸口にしたい考えです。

問 農業関係の園芸ギガ団地の誘致なども視野に入れているかどうか。(安藤正純)

答 企画課
元々が農地であることから、多様な利用方法があると考えますので、しっかりと検討します。

問 1日も早く土地利用の答えを出すことで住民の安心につながる。新型コロナウイルス感染症のため説明会は延期となったが、帰還困難区域の住民へのアンケートで町はニーズの把握をしていると思われるので、ある程度の答えを見出したいと考えている住民の声を理解してほしいと考える。(渡辺三男)

【令和4年2月18日開催】

準備宿泊の開始に向けた除染解体工事の進捗について(内閣府・環境省)

- 特定復興再生拠点内の除染を最優先に
- 令和3年度、令和4年度は拠点区域全域の事後モニタリングを実施
- ホットスポット等があった場合には除染方法を検討、実施(フォローアップ除染)

フォローアップ除染について

- 森林については、特に線量率が高く、平坦で施行が可能な森林で表土はぎとり等の追加対策を実施
- 道路について、追加除染可能な箇所は順次実施
- その他についても、事後モニタリング結果等を踏まえて順次実施



2月10日現地調査を実施



2月18日全員協議会の様子

立入規制緩和がされたエリアを、各委員会ごとに分散して調査しました。

問 現地調査でホットスポットを確認したが、2回目の除染をすることで線量低減につながるのでは。(渡辺三男)

答 生活環境課長
通常の片付けごみに関してはごみステーションに出すかコールセンターに回収依頼をしていたり周知しています。

問 準備宿泊のための作業で発生したごみについて、個人で全て処分するのは負担がかかる。どのような体制か。(安藤正純)

答 環境省
環境省での事後モニタリングや町での測定結果に加え、住民からの問い合わせにも対応します。現場の状況を見て、線量を下げられるよう対応します。

問 ホットスポット除染方法の検討・実施とは、住民が気になるという部分も対応するのか。(遠藤一善)

答 環境省
環境省での事後モニタリングや町での測定結果に加え、住民からの問い合わせにも対応します。現場の状況を見て、線量を下げられるよう対応します。

問 ホットスポットの再除染の方法は。(高野匠美)

答 副町長
適切な除染方法を専門家からも指摘いただきながら、住民の声も環境省に届けてしっかりと進めます。

問 森林の線量低減が難しい中、森林近くの住民の不安払しょくのためにも希望者の要望に沿って対応を。(佐藤啓憲)

答 環境省
除染検証委員会で、長崎大学の協力を得て行った分析結果の資料が出されました。安全性を含めての指摘を受け、影響がないよう万全を期します。

問 準備宿泊開始後、除染・解体による飛散が宿泊者にどう影響するかの検証は。(佐藤教宏)

答 環境省
ホットスポットにつきまして、来年度も事後モニタリングを行い、速やかな対応をします。



問 片付けごみの回収について、年度単位なので回収の空白期間が発生すると思われるが。(遠藤一善)

答 環境省
令和4年度は準備宿泊が始まることも鑑み、できるだけ滞らないよう町と検討します。

問 フォローアップ除染は準備宿泊者からの要望への対応を最優先に。(堀本典明)

答 環境省
除染後の環境省での測定や事後モニタリングによる場所の特定、町での測定や住民からの声により測定する等、除染後でも線量が高ければ、現場ごとに適した方法で対応します。



渡辺 正道 議員

問 来年度予算編成への考えは

答 希望と笑顔あふれる富岡町の礎となる予算



問 町長
一人ひとりの声を丁寧に聞きながら、確かな復興を積み上げることを基本目標に設定し、「農業と産業の育成」「帰還と移住の促進」「子どもたちの環境づくり」と三つに集約して、予算の編成を行いました。

問 就任後初の定例会で述べた「医療・福祉の充実」「魅力ある教育の実践」「多様な交流の促進」「多面的な産業の集積による雇用の創出」「新たな地域コミュニティの創造」は、どのように反映されているのか。

問 共生サポートセンター内、桜の園の開所運営にあたり現状は。

問 交流人口の増加に向け、桜まつりだけではなく、今後桜を基とした桜文大賞・桜染め・食品など種々の事業展開について町の考えは。

問 アーカイブ施設の運営・在り方は様々な関連施設との連携や協働を強化

問 とみおかアーカイブ・ミュージアムと県伝承館(東日本大震災・原子力災害伝承館)との協働・連携について町の考えは。

問 「富岡町「東日本大震災・原子力災害」の記録と記憶」記録集で、行政対応として考えさせられるところがあった。開示・展示すべきと考えるが。

答 健康づくり課長
措置の継続が町の考えであることを国へ伝えていきます。

問 GIGAスクール構想が進められている中で、文科省の調査による教職員のICT活用能力は全国で下から5番目とある。今後の対応は。

答 教育総務課長
ICT支援員を導入し、対応していきます。

問 とみおかアーカイブ・ミュージアムにおいて行政対応を含めた記録の状況や展示が不足していると考えるが。

答 教育長
聞き取りを進め、経験談の公開を進めていきます。

答 教育長
周遊プランや相互展示の実施を行う等、様々な関連施設との連携や協働を更に進めます。

答 総務課長
震災当時の教訓でいけば成功した事例もありますが失敗した事例のほうが多かったかもしれませぬ。これらの教訓・反省を忘れず、経験者がいる

問 イノベーション・コースト構想の視点から、産業団地における参画企業が足りないと感じるが。

答 企画課長
国からの補助金の関係上、製造業が主であり、なかなかイノベーション・コーストに関し、大きな関わりが薄いと考えますので、その受け皿となる部分をしっかりと考えます。



災害対策本部の様子 (とみおかアーカイブ・ミュージアム)

一般質問は、議員が町の行財政全般にわたって執行機関に問題点をだし、所信の表明を求めて政治姿勢を明らかにするものです。

ズバリ!! 町政を問う



2議員が質問

3月定例会の一般質問に2議員が登壇し、町の対応や考えなどを問いました。この紙面では、質問した順に質疑応答の要点をお知らせします。

1 渡辺 正道 議員 11

- 来年度予算編成への考えは
- アーカイブ施設の運営・在り方は



2 佐藤 啓憲 議員 12

- 職員の人材育成基本方針は
- 脱炭素社会に向けた取り組みは



動画配信中!



※QRコードを読み取ると各議員の一般質問動画が見られます。



※山本町長の一般町政報告はこちらから



山本 育男 町長

岩崎 秀一 教育長

原子力等 特別委員会

【屋外コンテナの雨水対策は】



遠藤一善議員

屋外で保管されている廃棄物の収納コンテナからの漏水事案について、雨水が原因とのことだが今後の対策は。

収納コンテナには対策として養生シートをかけていますが、巡視点検により、強風などによるめくれや破れがあれば、早期に改善を図ります。また、2028年度までにすべての廃棄物を屋内保管とする計画です。



東京電力HD(株)

【配管の点検について】



東京電力HD(株)

陸側遮水壁の冷媒漏えいについては配管接続部のゴムリング交換で対処とのことだが、同様の配管接続部は施設内にどの程度あり、また、すべて点検したのか。

同様の配管接続部ににつきましては陸側遮水壁一周1,500m中に約500ヶ所あり、すべてに対して保温材を取り外しての点検はしておりませんが、パトロールによってひととおり漏洩がないことを確認しております。今後、遮水壁の設備につきましては事後点検方式から定期的に点検を行う保全方式に見直すことを考えています。



渡辺正道議員

【海洋生物の飼育試験について】



佐藤教宏議員

海水と処理水の双方の環境下における海洋生物の飼育試験が2022年9月頃から開始されるが、もし数年後に影響があることが判明した際はどうか対応するのか。

海洋生物への影響につきましては、1年以内のデータからでも傾向が確認できることから、そのつど項目を確認しながら影響がないことをお示しできるようにしていきます。



東京電力HD(株)

【海水での腐食に対する対策を】



東京電力HD(株)

主要な設備は多重化するとあるが、海水を使うので腐食やさびによって停止してしまうことが懸念される。材質やメンテナンス方法など、しっかりと報告を。

海水を大量に使う設備では腐食リスクがあることを踏まえて機器を多重化し、万が一故障した際に切替えて運転できるようにします。また、異常が発生した場合は速やかに対処できるよう予備品を準備するとともに、ご報告やご説明も迅速に分かりやすく行います。



堀本典明議員

問 職員の人材育成基本方針は

答 企画の発想につながる人づくり



佐藤 啓憲 議員

問 職員のスキルアップと政策形成能力の向上は、よりよい町づくりに直結し、ひいては住民サービスの向上につながる。町民のニーズに的確に対応するための優秀な人材確保と人材育成について、町長の基本方針を伺いたい。

答 町長 本町の復興・創生を果たすため、退職者の補充・職種や年齢層を考慮し、計画的な職員採用を行っています。採用後は、ふくしま自治研修センターでの研修を必須とし、積極的な各種外部研修への参加と町独自の実務研修を基に、政策に結び付く企画の発想につながる人づくりに努めます。

問 昨今のコロナ禍における研修方法として、大人数による集合研修だけではなく、どこでも受講可能なオンライン研修や自身の業務に合わせたEラーニング研修等の拡大を。

答 総務課長 自治研修センターでの研修はすでにオンライン化されていますが、内部研修については内容の濃い研修となるように少人数での集合研修とし、その他は環境整備を含め準備していきます。

問 自己啓発意欲を促進するために、職務の遂行に寄与すると認められる各種資格取得に対する支援はあるのか。

答 町長 事務事業が増大する中ではありますが、職員の積極的な自己啓発行動は組織の行政能力を高めるものです。休職制度や職務専念義務の免除など修学や資格取得に関する各種制度の活用をしやすい環境づくりに努め、支援してまいります。

問 脱炭素社会に向けた取り組みは

答 理解醸成と新たなエネルギーの創出

問 国や県の「2050年カーボンニュートラル宣言を踏まえ、再エネを活用した脱炭素促進について、町は今後どのように取り組んでいくのか伺いたい。

答 町長 「災害に備えたまちづくり」「原子力に依存しない新たなエネルギーの創出」「新たな農業へのチャレンジ」の三つを重点施策目標に掲げ、再エネ活用に対する理解醸成と新たなエネルギー施策の検討を進め、大学等と共同研究を

しながら地球温暖化対策に取り組みます。

問 双葉郡でも既に4町がカーボンニュートラル宣言の表明をしている。環境省におけるモデル自治体の選定も始まっているが町としても早々に準備すべき。

答 企画課長 カーボンニュートラル宣言については、住民の理解と協力が必要となりますので、慎重に進めていきます。



EV充電スタンド(さくらモール駐車場)



町内の太陽光発電施設

問 ゼロカーボンに適合した住環境整備を進めるために、ZEH「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス」の、断熱・省エネ住宅の建築、太陽光発電、蓄電池システム装置、電気自動車充電器等、移住定住促進につながる補助金を支援すべき。

答 企画課長 太陽光関係で来年度に予算を計上します。拠点区域の準備宿泊にあたり、今後、新築物件が増えると考えますので、それに伴いご提案の補助金支援について検討を進めます。

総務文教常任委員会

総務文教常任委員会が調査した主な事業について報告します。

- 議事事務局
- 生涯学習課
- 教育総務課
- 住民課
- 出納室
- 税務課
- 企画課
- 総務課
- 〔所管課〕



※常任委員会とは①

本会議前に議案などを事前に審査したり、各課の事務の執行状況などを調査する場です。

＜立入規制緩和後の防犯・防火対策について＞

Q 立入規制緩和となったが、住民からの不安の声や問題等は。

A 問題点や住民からの不安の声は現在のところありませんが、帰還したいという声が増えましたので、応えていきたいと思っています。
また、交通量や車の流れが変わったことによる不安がありましたが、パトカーや消防団等かなりの台数が巡回しているのを確認しており、不安解消につながっていると考えます。



2月26日の立入規制緩和に伴う防犯パトロールの出動式の様子

【企画課】

＜フレコンバッグの配付について＞

Q 前回の避難指示解除の際は、下郡山の集会所など町内で片付けごみ収納用のフレコンバッグを配付していた。住民が二度手間にならぬよう配付方法について考慮を。

A フレコンバッグの配付につきましては、配付場所も調整しながら複数のやり方で行っていけるよう検討します。



拠点区域内的の住宅



【住民課】

＜乳児の安全対策について＞

Q こども園における午睡チェックシステムの概要は。

A 0歳児の午睡(おひるね)中の事故防止のシステムです。タブレット端末で管理しており、保育士の目視確認と併用してチェックしています。

【教育総務課】

＜放課後児童クラブ送迎時の安全確保を＞

Q 春休みから開所予定の放課後児童クラブについて、保護者お迎え時の駐車場の場所や安全の確保は。

A お迎えの際は、南側の県道(宮の原ポンプ場跡地)から入った駐車場を使用してもらうよう周知するとともに、開所までの時間でしっかりと安全対策を講じます。



駐車場入り口



【教育総務課】

＜補助金のPR方法は＞

Q 富岡町教育施設等の使用団体への宿泊補助について、回数制限はあるのか。また、今後のPR方法の検討は。

A 回数制限は設けていません。感染症のまん延が落ち着いたら広く活用してもらいたいと考えており、新たな周知方法も検討します。

【生涯学習課】

こんなお話がありました

富岡小学校および富岡中学校の新しい校歌が完成し、委員会において披露されました。

なお、それぞれの校歌につきましては、富岡町公式YouTubeチャンネルから視聴できます。



小学校新校歌QRコード



中学校新校歌QRコード

問 スクールマネジメント委託料とは。
答 学校をよりよくするため、同規模の事例等によりマネジメントしてもらい、教職員に対し専門家から指導してもらうための委託料です。

問 拠点区域の環境整備と国への要望を。
答 地域活動やボランティアへの支援などで整備に力を入れ、国とも協議を重ねます。

問 新型コロナウイルス感染症対応地創生臨時交付金の内容は。
答 新型コロナウイルスのまん延によって落ち込んだ地域経済や感染予防対策に使用するものです。

問 新型コロナウイルス感染症対応地創生臨時交付金の内容は。
答 新型コロナウイルスのまん延によって落ち込んだ地域経済や感染予防対策に使用するものです。



産業厚生常任委員会

産業厚生常任委員会が調査した主な事業について報告します。

- 【所管課】
- 産業振興課
 - 都市整備課
 - 農業委員会
 - 生活環境課
 - いわき支所
 - 郡山支所
 - 福祉課
 - 健康づくり課



※常任委員会とは②
全議員が必ずどちらかの常任委員会に所属します。
行政視察や事業の現地視察も実施します。

＜町内の公園整備について＞

- Q** 町内で再開している公園があまり使われていない状況と思われるが、今後整備される夜の森公園を含め、大きな公園には子どもに限らず大人も集えるような仕組み作りを。
- A** 町内に26ヶ所の公園がありますが、公園として機能していない箇所も多々あります。来年度から5年間の中で、規模や立地条件等に合わせ遊具やベンチ等の整備を予定しており、ある程度整備ができた状況で公園のマップを作成してPRすることを計画しています。
【都市整備課】

＜町内の街路灯の対策を求める＞

- Q** 太田公園の照明が少なく、夕方以降の散歩に不安の声がある。震災後は店舗等の明かりが少ないので、更なる街路灯の整備を求める。
- A** 店舗解体等で照明が不足しているという声があることは把握しており、街路灯につきましては順次LED化への修繕を進めています。太田公園につきましては全体的な公園整備の中で、遊具も含め検討しているところですが、照明から先に整備できるか検討します。
【都市整備課】



現在の太田公園



太田公園に設置されている健康遊具

＜住宅に係る補助金のPRを＞

- Q** 個人宅の生け垣にかかる補助金があることについて知らない人も多いことから、内容を広くPRすべきと考えるが。
- A** 現在、定住化促進やそれに伴うリフォーム、新築に合わせて案内しているところですが、さらにPRできるようにしていきます。
【都市整備課】

＜桜の郷の利用可能範囲は＞

- Q** トータルサポートセンターは、一般町民も利用可能か。
- A** 老人クラブ・婦人会等の集まりなど、町民の交流を目的として開放していく予定であり、一般の方にも広くご利用いただけるよう計画しています。
【福祉課】



4月9日開所のトータルサポートセンター(旧富岡第二小学校校庭)

＜ふれあい農園について＞

- Q** ふれあい農園の移転場所、および再開までのスケジュールは。
- A** 早期の再開を望む声が多いことから、関係各課と協議を重ね、町有地を中心に検討しており、グリーンフィールドの敷地内で再開するよう整ったことから、令和4年度の予算に計上しております。
【産業振興課】

＜地域防災について＞

- Q** 地域防災計画の修正について、町内の住民が少ない現状を鑑み、予期せぬ災害が発生した際にすぐ避難所開設等の体制が整えられるよう検討を。
- A** 町には6ヶ所の指定避難所があり、状況によって学びの森から順次開設します。居住者が点在している現状で、役場職員だけではマンパワー不足が否めないため、消防団員をはじめ、地域の力を借りることが必要であると考えています。
【生活環境課】

問 地域交流館でイベントの計画はあるのか。

答 芝生広場活用の大規模イベントや、施設も活用した地域の方との交流の場となるようなイベントを実施していく考えです。

問 感染症まん延のため控えられていると思われる特定健康診断の受診勧奨を。

答 これまでの周知に加え、働いている人でも申し込みしやすい形を導入する予定です。

問 照明灯管理事業費は何灯分の予算か。

答 主に桜通り線の62灯です。景観を考慮し、早期に進めます。

問 照明灯管理事業費は何灯分の予算か。

答 主に桜通り線の62灯です。景観を考慮し、早期に進めます。



シリーズ 復興へのあゆみ Step.24

様々なイベント等で、町民の方から多く聞かれるのは「富岡町から遠く離れた土地で長く避難生活を送っていると、富岡町が今どうなっているのかわからない」という声です。皆さまの先が見えない不安を少しでも解消できるように、富岡町の現状をお伝えします。

2022. 2. 1 富岡町観光案内所開所式

富岡駅構内に、観光案内所(観光協会)が開所しました。とみっぴーグッズや地域物産品の販売コーナーなどがありますので、ぜひ足をお運びください。



2022. 3. 18

特別養護老人ホーム開所

「特別養護老人ホーム桜の園」「トータルサポートセンターとみおか」が、それぞれ開所しました。



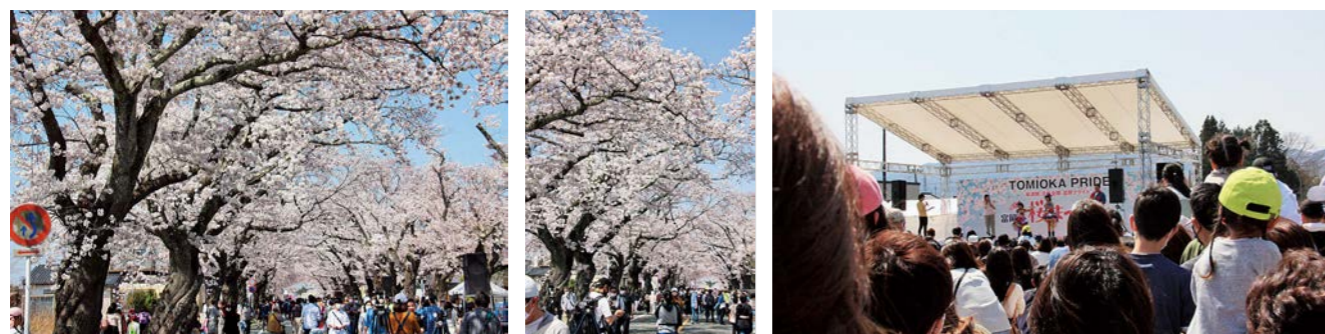
2022. 4. 9

トータルサポートセンター開所



2022. 4. 9-10 富岡町桜まつり2022

満開の桜の下で桜まつり2022が開催され、2万人を超える来場者が桜並木やステージの催しを楽しみました。キッチンカーやテントでの物販等もあり、会場はたくさん笑顔で賑わいました。



組織改編

富岡町の復興に 全力で取り組みます!!

常任委員会等 構成メンバーが決定

※ ◎委員長 ○副委員長

総務文教常任委員会



左から 高橋実・宇佐神幸一・◎遠藤一善・○佐藤教宏・高野匠美

総務文教常任委員会
委員長 遠藤 一善
副委員長 佐藤 教宏

産業厚生常任委員会



左から 堀本典明・渡辺三男・◎安藤正純・○佐藤啓憲・渡辺正道

産業厚生常任委員会
委員長 安藤 正純
副委員長 佐藤 啓憲

条例に基づく各種委員

- 富岡町都市計画審議会委員
〔遠藤一善・堀本典明〕
- 富岡町青少年問題協議会委員
〔佐藤教宏・高野匠美・佐藤啓憲〕
- 富岡町総合開発審議会委員
〔佐藤教宏・渡辺正道〕
- 富岡町民生委員推薦会委員
〔宇佐神幸一・渡辺三男〕
- 富岡町水防協議会委員
〔安藤正純〕

※原子力発電所等に関する特別委員会委員および正副委員長の変更なし



遠藤一善・安藤正純・◎渡辺正道・○高野匠美・堀本典明

議会運営委員会



堀本典明・◎高野匠美・○佐藤啓憲・佐藤教宏

議会広報特別委員会

名称と役割が変わりました



ご卒業・ご卒園

おめでとうございます

ご入学・ご入園



議会を傍聴しませんか？

- 6月定例会は、16日(木)～17日(金)の会期で開催する予定です。
- 所定の用紙に、住所(市町村名まで)・氏名・性別・年齢を記入いただくだけで、どなたでも傍聴することができます。
- 審議日程など、詳細については議会事務局までお問い合わせください。
議会事務局 ☎0240-22-2111(代表)



編集後記

名称が「議会広報特別委員会」に変更となり、議会だよりをはじめ議会広報のあり方などについて議論を重ね、さまざまな意見を出し合いながら工夫を凝らし、より多くの皆さまに読んでいただけるような紙面づくりや広報活動に向け取り組みを進めてまいります。

コロナ禍の下、意見交換会や懇談会を開催することはなかなか困難ですが、引き続き身近な町議会を目指してまいりますのでよろしくお願いたします。

ご意見・ご感想等ありましたら、ぜひお寄せください。
(高野 匠美)

発行責任者

議長 高橋 実

議会広報特別委員会

委員長 高野匠美

副委員長 佐藤啓憲

委員 佐藤教宏

委員 堀本典明

この印刷物は、FSC®の基準に従って認証され、適切に管理された森からの木材を含んだ用紙を使用して印刷しています。

